

して舉社痛歎措かざる所であります。

#### 第四 今回の爭議突發の源因

##### ● 丸三、丸本問題

今回の爭議突發の近因と目すべきは所謂丸三丸本問題であります、從來會社の荷物  
は丸三合資會社が扱つて居りましたが、従業員の不從順不勉強のため輻輳する貨物の  
取扱ひに間に合はぬので、本社は丸三に對し充分念を押したる上、貨物の一部を新設  
の丸本運送店に取扱はしむることとしたのであります。この事はかりに労働組合に不  
便なりとするも、丸三従業員(全部労働組合員)の努力と勤勉によりては充分その救  
濟をなし得べく、然らざるも平和裡に處理し得べき問題なるにも拘はらず、彼等は丸  
三従業員の失業問題なりと稱し、果ては會社の労働組合切崩しなりと宣傳し、初め丸  
三對従業員間の問題として交渉し居りしも、幾何もなく次で會社對その従業員の問題

に移し交渉員を擧げて會社に迫り九月廿三日第二十回會見の際、「會社は吾々來らば斯く  
答ふべしとの議決し居らん。是非即答せよ、吾等は期する所あり、要求容れられざれ  
ばクーデターあるのみ」と聲言し、翌十四日會見二回の後には少數幹部の間に議を決  
し、翌十五日各工場に出勤の組合員に對し祕密命令を發し薄暮ストライキ決行を宣言  
し參集の一般會員をして茫然自失せしめたのであります。

丸三と會社との關係は、會社では丸三に出資もして居り、その繁榮は衷心より望む  
所であり、ことさらにその衰頹を圖る如きことは出來る筋合のものではありません。否  
かりに、會社が労働組合を切崩すとしても、丸三丈けについて特にかゝることをして  
果して得策かどうか凡そ常識で判斷の出來る事柄であつて、全く無體の言ひ懸りに過  
ぎません、又丸三従業員の生活云々といふこともこれは會社としては筋違ひの事であ  
り又、丸三につき實査する所によれば(丸本は僅かに二割強を取扱ふのみ)當時荷物  
の極めて少ない時で丸本に一部の仕事を命じた後、即九月一日から同十三日に至る平